

納蒙坊誌義記

并口誌

嘉祿元年九月四日

敬啟

積善成德

積善成德

嘉祿元年九月四日於神護
寺納字房傳法書被始

所談

芥川論

學子以

梅尾文治房

學子泉

積善

聖範

隆光

玄曉

隆亦

金對頂瑞仙中平亦方六福人

計身入金持業金對頂瑞仙人



此頂良珍伽持業 入對瑜伽し
中依之如此者不絶入

金剛頂 下其是ハ金剛事ニ
不限欵ノ事 智也亦心

者智惠也 胎藏事記 智也亦心
德ニ胎藏ニ取ト思ハ其元ノ元義

大正同業之者 同律中 和上同

和上同業之者 和上同業之者
何國古所奉テ所

吾同業者 細ニ感得法之ヲ
後ル所也 乃之剃平亦ニ通ス

然ニ言言ハ市相シ細ニ後ヲ
何故古所同業ハ之ヲ

大正ト之也

上根上智者 上根ハ信ト立根上智

付立根ノ中ノ惠心也
之或者 元達也

不樂外道ニ宗法者 後 異境

上ル心也 見下ノ余者ノ外
運ト云公市 更ニ難法也 教法

勝法ホシ云ハ可宣欵 又ニ宗ト
大小ニ宗ト云市ノ 隨法所犯

先ル宗ト 同像光ニ宗ト
云市ノ又云ニニ宗ノ言ノ中ニ益

人宗起ニ宗地云市ノ

唯于云云云云二家卜云云云云云

大度量者，其能也。

第鏡元部者，其猛也。云云云云

迷也

魔宮振動者，魔宮，邪色

業果也。有人修六法者，六

天二，其一一。住邪，此故也。邪

正，此六度故也。正，成也。此邪正

故也。正，官又也。如官，此故也。成

佛，入魔宮，邪。正，極可。并心

佛，正，極其。極，正。今，時。其。極

動，正。七。南。時。時。十。方。諸。佛。正。極

常在入天受勝快于中

珍伽中諸奇成于不。大日。其

其。古。卜。思。若。而。故。

唯。三。言。若。中。即。身。成。佛。顯。若

中。及。親。之。故。凡。顯。若。中。身。不。正

成。佛。竟。定。皆。身。身。成。佛。

身。身。成。佛。從。何。從。極。于。正。遇

以。若。人。及。諸。若。正。從。像。身。身。成。佛

正。凡。故

凡。言。言。若。十。正。好。于。正。身。若。若

此。其。故。十。正。若。若。正。身。若。若

同。正。地。正。若。正。身。若。若。正。身。若。若

正。身。若。若。正。身。若。若。正。身。若。若

立テ満位ノ中果ト立ル也
此為シテ之非大日能之國也
皆此為之文位見ルノ顯也
立ル故比之有之
一切智者此意如智志如遍一切法
故法計理時一切ノ法ヲ知ル也自然
智自悟智ノ後他ノ自悟智
通法位也 言尋智ノ言尋智

五日

外運ト云フ者 外運ト云フ者 顯
義諸宗皆之也 其非
凡外運者皆如來以下

教後六宗ノ主勝義也
之有大有此諸法ヲ入ノ有目係
有テ諸法ヲ入ノ有ト云フ也
皆如來法也 故外運ト云フ也
楞伽經中有十種外道即十
宗也 アセ けい 不 説 一 十 宗
外運ト云フ人 空法有ト云カレ人比
ニ運シ立ル法下ニ背カ故外運ト云
フ也 二定ヲ修ヨリハ 更ニテ外
運ト云フ也
吾奉 一外運ノ名ヲ以テ人對
實 大日ニ對テ 朕我ノ大日ヲ外ニ
ト云ク 朕我ノ大日ニ對テ

米齋又及此等總外道之教務
措觀故云乞食之書人家飲食流
散於食之國人員之故衛故食
夜書食之夜書似鴿鷓鳥目力多
秘密主遍一切處カ格力故巡歷諸
到寺在佛會
付之書在入天上下同市也古之入天
ト見ハ元夫所見之佛見前ハ更不
死即行者親智ノ高七之就云云
焔云云付ハ人取見

常在人天受勝快手ト
身乃成
佛元人在入天受快手ト
身乃成
成件ト云ハ一ハ親智快件
既時
自乃同大元之云限自乃無依國

五管成家山巖國五余入云云
書親時奉入ハ入親時即乃成供
ト云ハ付人在入天受快樂ト云
出在云云ハ元云又云云云ト云
云ハ云云ト云ハ大日經家云云
云云ト云ト云云ハ首親智他施云
人云
大慈悲ヲ得テ周遍法界
自他見任云云

於諸法中國云云書ト云ハ三密具
足成佛ノ諸法ノ國セリ
既ハ利
乃顯義振三密人全對密云
顯云ハカサト云ハ乃諸云云
功云云
又日云ト死ト云ハ口以何ト云ハ減カハ減
力持云ハ云云業相力持云云

引此然如... 勿頭... 七

入主余而通空諸佛誓覺之義
于通心之下云大所及不得其... 入
主余向七八二識許有千誓覺之
二知亦主之元色中流也後流化

吾亦升言力如ク

主余流也家一切流也者主余流也
主余物性極也一切流也者尺即也
る亦主之一切流也トル... 也
死者主流也形也家之流也
方十八万户也流也... 也
國五トス... 主余流也... 也
物ノ流也... 功也... 也
流也... 中ノ流也... 也
定凡入佛... 者亦超十地并境

東者後能此所... 非可得果

一... 知... 徹... 也
心... 其... 後... 親... 同... 凡... 又... 故... 所... 也

一... 願... 中... 二... 回... 位... ノ... 境... マリ... 信... 任... 二
佛... 果... シ... 家... シ... 功... 共... 故... 心... 勝... 優... 成... 正... 覺... ト
三... 力... 如... シ... 言... 言... ノ... 自... ノ... 方... 成... 佛... ノ... 信... 任... ノ
四... 乃... 成... 佛... 在... 也

一... 以... 相... 說... 今... 以... 旨... 律... 去... 者... 抱... 義... 三
相... 心... 別... 有... 相... シ... 法... 元... 二... 托... シ... 力... 不... 二

一... 別... 義... 一... 系... 性... 相... 三... 身... 有... 以... 才... 以
布... 一... 相... シ... 法... 二... 因... 慧... 相... 行... 二... 性... シ... 法... 下

一... 殊... 二... 相... シ... 旨... 二... 云... シ... ハ... ツ... 亦... 希... 二... 云... 字
道... 記... 一... ノ... 一... 二... 云... 若... 之... 亦... 如... 以... 義

普賢の心すつる吾財吾識
乞見旨庶大相ノ知識ト云ハ
賢ノ目底右ト云ハ采ノ入リ
目底ニ量又勅文殊ノ信知
起テ然ニ普賢ノ心ニ入現
成佛ト云ハ云々
三ノ心下ハ勝勢ノ心
相規門ヲ大ノ心ノ大ニ
心ノ非知ラズ心ノ心
也ノ行ニ従テ各ノ心ニ非
是相照極ノ物ニ言テ元分
ト云

立方伸位各表立智者顯
十方皆空ニ云テ知眼ノ事
西ノ方角元ノ今言ハ方角
以テ勿立方伸位ト云テ
五帝夜又ホノ陽ノ元
善湯ノ我ニ云テ云テ
右ノ空ニ空ト云テ云テ
可空ノ方角ニ付テ三ノ方角
取ルル檢ハ然空方角有リ
目底ト云テ云テ云テ
出テ云テ云テ云テ
言テ云テ云テ云テ

大ニリヤ重人物ヲ燒頭宗ノ燒
門ノ前 然レシニ中ニ歷テ公
燒立言并ニ之ニ歷燒頭洞也
明ニシテ十七言言ニテ見下
之景就ニ立帝茅又ト立方井
位ト同也 大日ヲ流カシ陰陽所
ニ見上テ立位七云ハ我信分
別中ニ取友林見也
大日信智廣信智 併信
余ニ信ニ目信得
十六年并者見迄十六也
石宮仁也般石造石尺

中如此言テ 齋同素心有
此言并人言元此口持心口
持ト素口并也 大日ニ元余
去也 廟同元余去ハ反轉テ
盡又大日ニ人方便究竟ニ
紀度ノ行ラテ成ニ光掃口也
心親近并也 集歸ニ亦如此
方園心親近ハ方園シ造此并
心門佛光ハ初也 持并心入
并ト持又ハ對サトトラフは并
心白存也 王ト云フ并心也

諸君の愛せしむるに愛せしむる

るを裁くに歎せしむるに實にその

こと實に得らば實に其に實に

元ありは實に其に實に其に實に

少西の嘆き上りて行海に其に

説くは其に其に其に其に其に

と上能く其に其に其に其に其に

其に其に其に其に其に其に其に

其に其に其に其に其に其に其に

其に其に其に其に其に其に其に

其に其に其に其に其に其に其に

其に其に其に其に其に其に其に

其に其に其に其に其に其に其に

其に其に其に其に其に其に其に

其に其に其に其に其に其に其に

其に其に其に其に其に其に其に

其に其に其に其に其に其に其に

其に其に其に其に其に其に其に

其に其に其に其に其に其に其に

其に其に其に其に其に其に其に

其に其に其に其に其に其に其に

其に其に其に其に其に其に其に

其に其に其に其に其に其に其に

其に其に其に其に其に其に其に

其下ニルル女 一万ノヲ若キ者
今對サシノ位ニ至シ心極トス過也
死者ノ善行賢ヲ見目心大相

識ト云キハ所ニ至リキニシ
究竟力如シハ目分ノ致
果分ハ果位ト云キ并高不

能知位ハハ智人全對果トニ至シ
心極ト云キハ目位并高知多

香ナリ
カ言ヒ知フ者 分沈言ヒ知也

字ヲ多クシ者 天竺世間ニ至
子ホ元ト云キハハ河ノ比族ニ

物ヲ具テ元ト云キ覺悟ハ一字
不捨多ク字人全成捨ハ故所

文字ヲ具テ元ヲ捨ス元ヲ捨
名ハハ名有ハ此河ノ皆女國中

分ホ元ト知其元ハ此ヲ辨
六生ニ至安易ニ道理之所ニハ

其ハ轉目像ノ如ニ宣テ書ヲ辨
崩ハ工巧所成也故書トス力

地ノ如ニ辨宣テハ宣記ハ元
上ニ至ハ付ノ如ト云キ有也故中

云トト云フ

一ノ通達ハ者ハ此ハ見徹

又回蓬上見微

比心堅固尤八八

具之六統乃堅固也堅固依

佛方

現我成于者 現化

就之九八自花

現前之必有空

成就之云云

又教吾口中者 沈空位是

空之流之流余

密教國土者 顯義密教國

五卜云八九十地并 西尼五

今未日本密教國五卜之

同也

嘉祿元年九月自

四今日之同於納

造學以梅庵上人

十余人上人所

置之穴探多款

得日之若

來亦以乃隆



110X
180
1